

平成 27 年度大手門前通水管路改修工事

特記仕様書

I. 工事概要

工事名称 平成 27 年度大手門前通水管路改修工事

工事場所 皇居外苑 大手濠 桔梗濠 (東京都千代田区)

工 期 契約締結の日 ~ 平成 28 年 1 月 29 日

工事規模 通水管改修工 1 箇所
大手濠~桔梗濠 L=13m

工事種目 土木工事

工事概要 大手濠と桔梗濠をつなぐ通水管の通水機能を回復するための管渠改修と適切な管理を行えるようにするための柵の改修を行う。

II. 適用 (本特記事項は、のものを適用する。)

- この特記仕様書は、「自然公園等工事共通仕様書（自然公園編）」（以下「共通仕様書」という。）でいう特記仕様書で、本工事に適用する。
- この工事の施工に当たっての一般事項は、共通仕様書による。
- 追加事項が必要な場合には、空欄部分に記載する。

III. 工事共通図書及び参考資料

本工事は、本設計書の他下記の図書による。

- (1) 自然公園等共通仕様書（自然公園編）（環境省）
- (2) 土木工事共通仕様書（国土交通省）
- (3) 土木工事必携 土木共通仕様書（関東地方整備局）

- ☑ 施工上の納まりまたは取り合い関係で、材料、寸法、取り付け位置、取り付け工法等について軽微な変更および測量誤差に起因する地盤高さ、建物位置、道路、水路、配管等の軽微な変更は、監督職員と協議する。協議の結果は、記録し、監督職員に提出する。なお、これらは、原則として現場処理とする。
- ☑ 仕様書および本図書に記載がなくとも、本工事を遂行するうえで当然必要な施工上の事項については請負者の負担にて処理する。
- 工事範囲内の占用物件等については、埋設状況等を把握し、これに損傷を与えないように十分に注意して施工する。
- ☑ 施工に先立って、既に損傷を受けている箇所について調査し、その結果を監督職員に報告する。
- ☑ 本工事分と既設部分とのすり付けは、なじみ良く仕上げる。
- 本設計図書に記載のない既設物の解体・撤去の際は、写真撮影を行い形状寸法・数量を監督職員に報告し、承諾を得てから、解体・撤去を行う。
- 本工事で生ずる発生材は、形状寸法・数量を監督職員に報告し、指示に従って措置する。
- ☑ 各種製品、石材、タイル、樹木、その他監督職員等の指示する材料は、「材料承諾願」提出時に見本品を提出し監督職員等の承諾を得る。
- 工場製品あるいは現場加工品の色彩については、別途「色彩計画書」による他図面に明示されていない場合、監督職員等と協議し色彩を確定する。
- ☑ コンクリートミキサーの清掃により生じる汚濁水の処理については、原則として、苑外まで搬出し処理することとする。
- ☑ 残土、表土等のダンプトラック運搬に関しては、必ずシート掛けを行う。
- ☑ 掘削土砂等の材料を仮置きする場合は、降雨等により周辺に流失することのないように、土嚢積みやシート掛け等の適切な対策を講じる。
- ☑ 苑内でのたき火等は禁止とする。
- ☑ 常に、資材および作業機械・工具の整理整頓に努めるとともに、吸い殻、ゴミの管理は徹底する。
- ☑ 既存測量杭がある場合は、工事中、必要に応じて引照点をとるなどして大切に扱う。
- 本工事で使用する植栽樹木について植樹保険に加入し、加入証書の写しを提出する。
- ☑ 国等による環境物品等の調達に関する法律(平成12年法律第100号、通称「グリーン購入法」)に基づく、環境物品等調達の推進に関する基本方針〔以下「基本方針」という。〕において位置づけられた、「特定調達品」に該当する材料及び建設機械等は、原則として基本方針に定める判断基準を満足するものを使用することとする。なお、やむを得ず判断基準に満たないものを使用する場合は監督職員の承諾を得るものとする。
また、該当する使用資材・建設機械を工事完了時に、特定調達品目(公共工事)調達実績集計表を作成し、提出する。
- 本工事は、特定建設資材を用いた建設物等に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事であって、その規範が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。)施行令又は都道府県が条例で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

工事契約後に明らかになったやむを得ない事情により、予定した条件により
 難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

- 分別解体等の方法

工程 ごとの作業内容及び解体方法	工程	作業内容	分別解体等の方法
	① 仮設	仮設工事 □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	② 土工	土工事 □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	③ 基礎	基礎工事 □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	④ 本体構造	本体構造の工事 □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑤ 体付属品	本体付属品の工事 □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑥ その他 ()	その他の工事 □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用

- 再資源化等をする施設の名称及び所在地

特定建設資材廃棄物の種類	施設の名称	所在地
コンクリート		
アスファルト		
木材		

- ① 受け入れ時間帯 () 処理場： 時 分～ 時 分
 () 処分場： 時 分～ 時 分
 () 処分場： 時 分～ 時 分

- ② その他 _____

- 請負者は、特定建設資材の分別解体・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第 18 条に基づき、以下の事項を書面に記載し、監督職員に報告することとする。

- ・再資源化等が完了した年月日
- ・再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・再資源化等に要した費用

- 本工事は「建設副産物情報交換システム」(以下「システム」という。)の登録対象工事であり、請負者は、施工計画作成時、工事完了時、及び登録情報の変更が生じた場合は速やかに当該システムにデータの入力を行うものとする。監督職員への報告はシステムにより作成した〔再生資源利用計画書(実施書)〕及び〔再生資源利用促進計画書(実施書)〕により行うものとする。

- 本工事の施工にあたっては、「建設工事における建設副産物管理マニュアル」のうち「3 施工編」に従い適切な処理に努めるものとする。

- ① 間伐材、合板・製材工場から発生する端材等の残材、林地残材又は小径木の体積比割合が 10% 以上であり、かつ、それ以外の原料として使用される原木はその伐採に当たって生産された国における森林に関する法令に照らし合法的な木材であること。

- ② 外の場合は、間伐材、合板・製材工場から発生する端材等の残材、林地残材又は小径木以外の木材にあたっては、原料として使用される原木はその伐採に当たって生産された国における森林に関する法令に照らし合法的な木材であること。

- 木材の加圧保存処理は、JIS A 9002 「木質材料の加圧式保存処理方法」に準拠すること。保存剤の吸収量及び浸潤度は、AQ 又は JAS で定める基準に準拠すること。
- 設計図縮小版〔・A 3版・3部〕を製本し、(表紙、及び背表紙には、年度、工事名等を明朝体で記入)、監督職員に提出する。なお、費用については請負者の負担とする。
- 完成図のサイズは (A 1 A 3) とし、提出する図面の種類及び記入内容等は共通仕様書及び監督職員の指示による。
- 完成図はCAD及びPDFにより作成し、CD-R等の電子媒体により提出する。
- 完成図は上記サイズの縁点きトレーシングペーパーにインク書き(鉛筆書き)とする。
- 完成写真はカラー (キャビネ版) で (2) 部提出する。ただし、原板は撮影者の保管とする。なお、撮影箇所等は監督職員の指示による。
- イメージアップについては、工事掲示板やバリケードのイメージアップ等を想定している。詳細は監督職員の指示による。
- _____

3. 再生管設置工

- 施工に先立ち、既設管内の洗浄を行い施工現場周辺および通水管内の実測や目視等による管きょ調査を実施する。調査結果を整理し製管径や施工計画の立案を行い、発注者と十分協議を行う。

4. 管理柵修復工

- 既設柵内にコンクリートの増し打ちを行い防水材を塗布する。
- 既設柵に止水板と角落しを設置する。

5. 土工

- 残土処分に当たっては、その搬出先の現況測量を行い、現況図を作成した後、残土搬入、敷均し等を行う。また、搬出完了後、出来形図を作成し監督職員等に提出する。
- 植栽地に対して必要以上の機械の出入りは避け、土壌の固結防止を図る。
- 盛土工に当たっては、現況地盤と盛土部との間に滞水層ができないように注意を払う。
- 掘削工に当たっては、特殊土壌(土丹、礫、固結粘土等)が出現した場合は監督職員とその措置を協議する。
- 法尻、法肩、築山などについては、ラウンディング等の造形的な処置を施す。なお、監督職員等の指示する主要な部分の施工図を提出し監督職員等の承諾を得る。
- 客土の運搬および敷均しについては、雨天後の含水比の高い状態での作業を行ってはならない。また、重機による巻きだし、押土による移動は、出来る限り制限する。
- 掘削にあたっては、既設埋設物を破損しないように事前に調査する等留意し、障害物等が発見された場合は、監督職員と協議する。
- 搬出する土砂は、地域生態系保全の観点から、雑草等の混入のないものとする。

- 張り芝部への客土は、マサ土と山砂を混合した土を使用する。
- 客土材は案内図に示す位置に仮置されている表土（搬入土）または、良質土（購入土）とする。表土と良質土の使い分けは下記による。
表土： _____ 良質土： _____
- 残土は次の処理場への運搬搬入するものとするが、敷均しは請負業者において行うとともに土量が確認できるよう必要な資料を整備するものとする。
 - (1) 受け入れ先の名称、所在地 _____
 - (2) 距離 _____ 片道 _____ k m
 - (3) 土量 _____ m³
- _____
- _____

6. 無筋・鉄筋コンクリート

- 鉄筋の種類は下記による。

鉄筋名称	種類	径(mm)	適用箇所
異形鉄筋	SD295A		
	SD345		
	SD390		
小型丸鋼	SR235		

- 鉄筋圧接完了後の試験は超音波探傷試験とする。
- 鉄筋コンクリートの設計強度は下記による。

設計基準強度 F_c (N / m m ²)	適用箇所

- 無筋コンクリートの設計強度は下記による。

設計基準強度 F_c (N / m m ²)	適用箇所
18N	柵内増し打ち

- セメントの種類は下記による。

種類	適用箇所
普通ポルトランドセメント	
高炉セメント	基礎ブロック、縁石基礎
フライアッシュセメント	

- 型枠に使用するせき板の材質は複合合板を原則とし、それ以外を使用する場合は監督職員の承諾を得るものとする。
- _____
- _____

7. 施整備工

- 路床の支持力が弱いと思われる部分については監督職員と協議し、その指示にしたがって改良を行う。
- 石材・平板・レンガ・タイル等の舗装については、設計図に基づいて割り付け図を作成し（伸縮目地を含む）監督職員の承諾を得る。

- 舗装の水勾配の設定に当たっては、設計図に基づいて施工図を作成し監督職員の承諾を得る。
- インターロッキングブロック等の敷き砂にて施工する舗装工事において、人孔、集水桝、照明灯及び植栽地と隣接する部分は、モルタル止めとする。また、勾配が急な箇所は敷き砂、そのほか監督職員の指示する箇所は、モルタル空練りとする。
- 構造物等の周辺の舗装との取り合い部については転圧不足にならないように念入りに行う。(転圧が不足な場合等は路床改良を行う。)
- 監督職員の指示する舗装は試験施工を行い、承諾を得てから施工する。
- 施設工事に使用する止水板、角落しについては、加工図、納まり図等必要に応じ施工図を監督職員に提出し、承諾を得る。
- コンクリート構造物の天端・角部は、特記のない限り面取りを施す。
- 施設等の構造物設置に当たって、基礎地盤が軟弱で所定の支持力が得られない場合は、監督職員と協議し適切な措置を行う。
- 石積工事に当たっては、水抜き穴の設置箇所・伸縮目地の設置箇所について割付図を作成し監督職員の承諾を得る。また、石積の目地は深目地とし、セメントの付着した部分はその日のうちに洗い流す。
- 使用する木材は、下記の強度を有し、割れ・狂いの少ない木材とする。

圧縮強度 (N/mm ²)	引張り強度 (N/mm ²)	曲げ強度 (N/mm ²)	せん断強度 (N/mm ²)
16.8	10.2	16.8	1.8

- 木材の工事現場搬入時の含水率は、全断面の平均推定値20%以下とする。ただし屋外で使用するもの等、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。
- その他の部分に使用する木材は、日本木材保存協会認定加圧注入防腐処理、および表面撥水性木材保護塗装処理とする。
- 木材の仕上げはプレーナー仕上げを標準とし、高欄、柵のトップレールはサンドペーパー仕上げとする。また、デッキのスロープ部および渡りデッキはノンスリップ加工とする。
- 施設の設置に際しては、図面に従うものとするが据え付けの納まりに関しては監督職員の指示に従う。
- 案内板、指示標識等の設置に際しては、図面に従うものとするが、設置の方向、案内図のデザイン等に関しては、監督職員の指示に従う。
- _____
- _____

8. 植栽工

省略

9. 給水工

省略

10. 排水工

省略

11. 電気工

省略

12. 安全対策

- 施工日は、原則として月曜日と金曜日としその他の曜日の工事に関しては監督職員と協議のうえ実施する。
- 施工時間帯は、昼間施工（8：30から17：30まで）を原則とする。また、監督職員と協議のうえ、前後延長可能とする。
- 施工日数は57日程度を想定しており、この期間必要箇所に2名ガードマンを配置すること。
- 施工場所は、皇居外苑への出入り口である大手門付近である。そのため苑内利用者に配慮し、できる限り影響が少なくなるよう施工すること。

大手門前通水管路改修設計

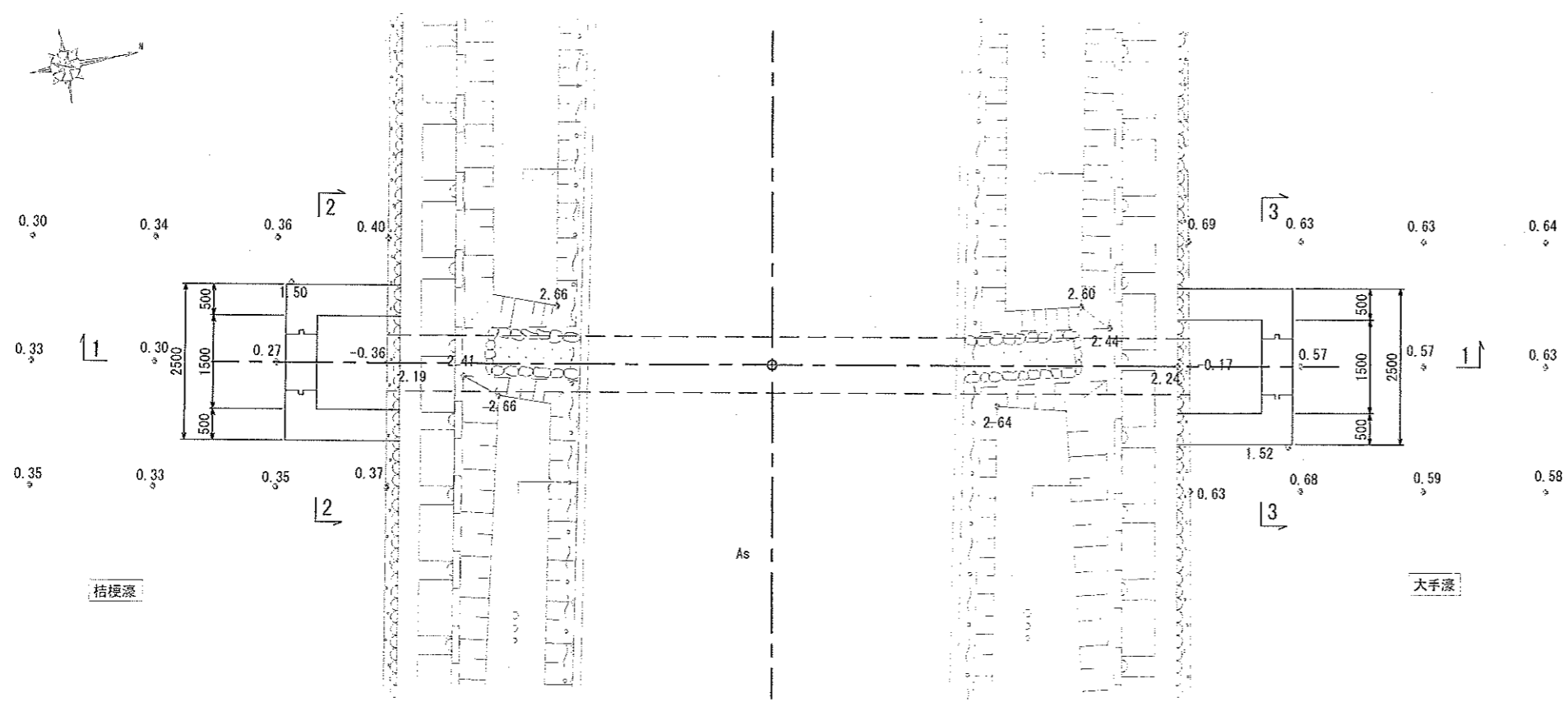
設計図

平成27年

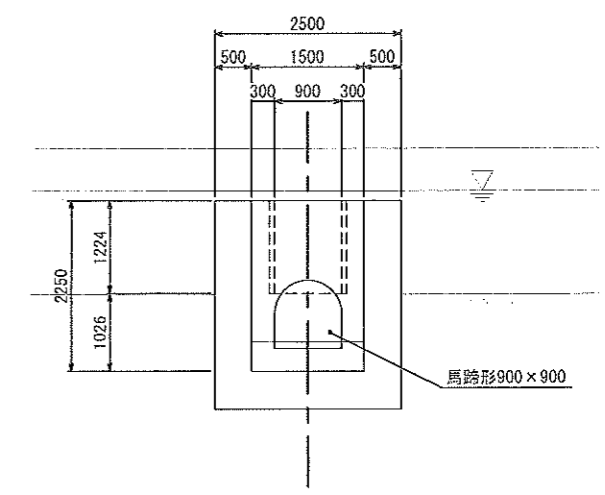
環境省 自然環境局 皇居外苑管理事務所
(株)アーバンデザインコンサルタント

通水管施設一般図(現況図)

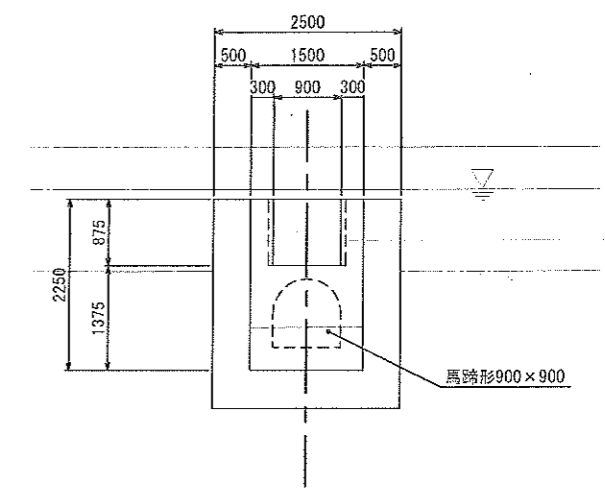
平面図 S=1:50



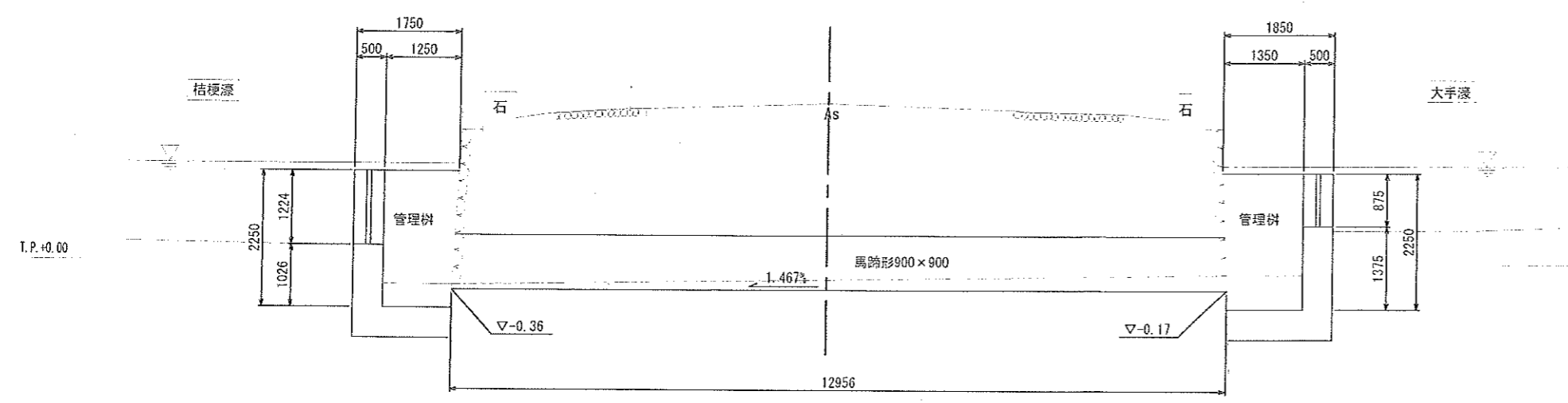
2 - 2断面 S=1:50



3 - 3断面 S=1:50



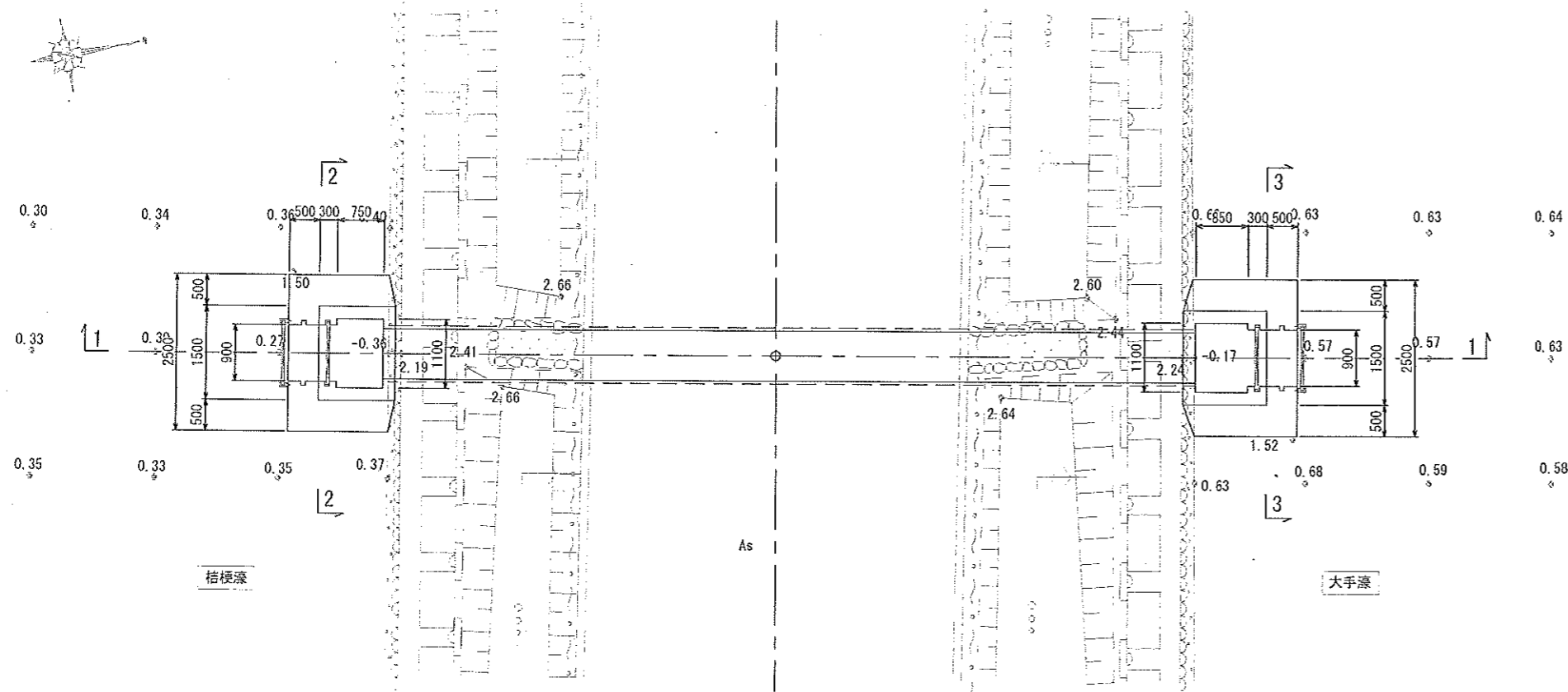
1 - 1断面 S=1:50



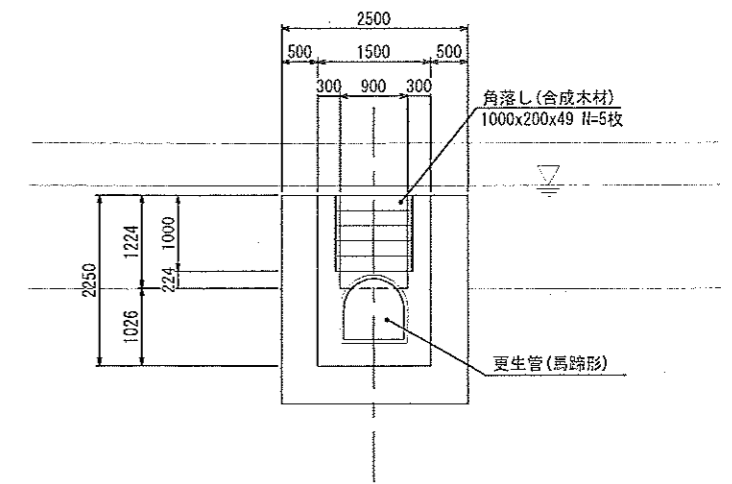
公園名称	皇居外苑 大手濠		
工事名称	大手門前通水管路改修設計		
図面名称	通水管施設一般図(現況図)	種別	図示
年月日	平成 年 月 日	図面番号	2 / 8
会社名	株式会社 アーバンデザインコンサルタント	照査	設計
工程別名	環境省自然環境局皇居外苑管理事務所	照査	設計

通水管施設改修計画図

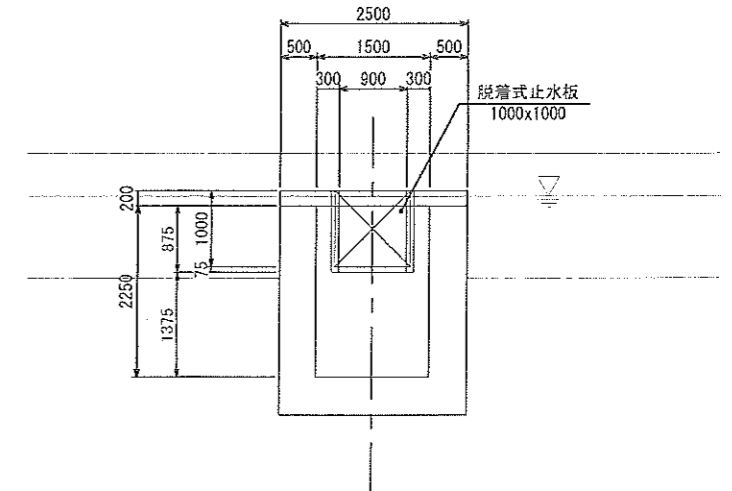
平面図 S=1:100 (S=1:50)



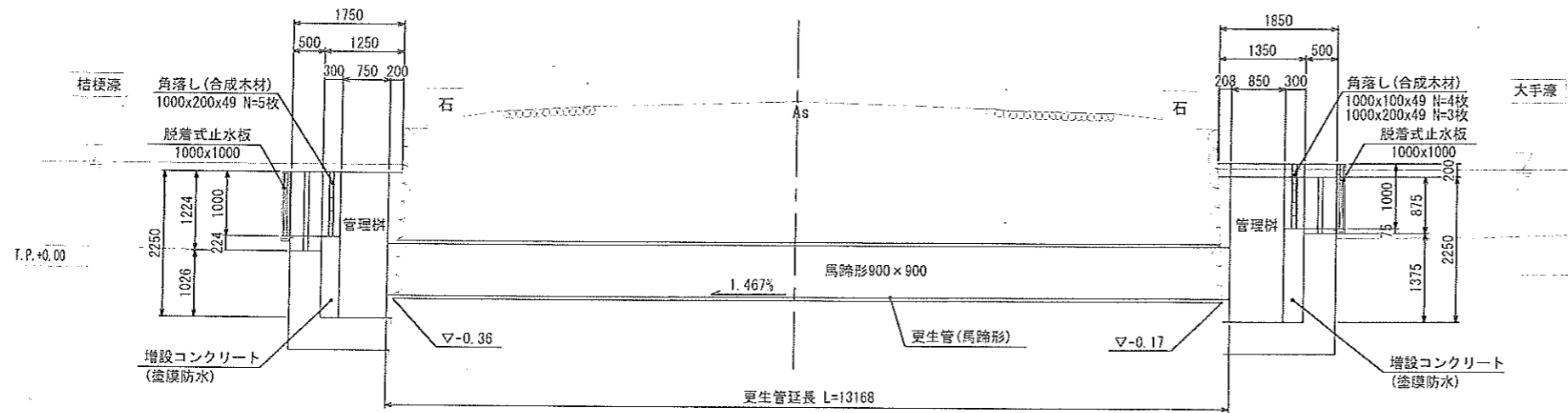
2 - 2断面 S=1:100 (S=1:50)



3 - 3断面 S=1:100 (S=1:50)

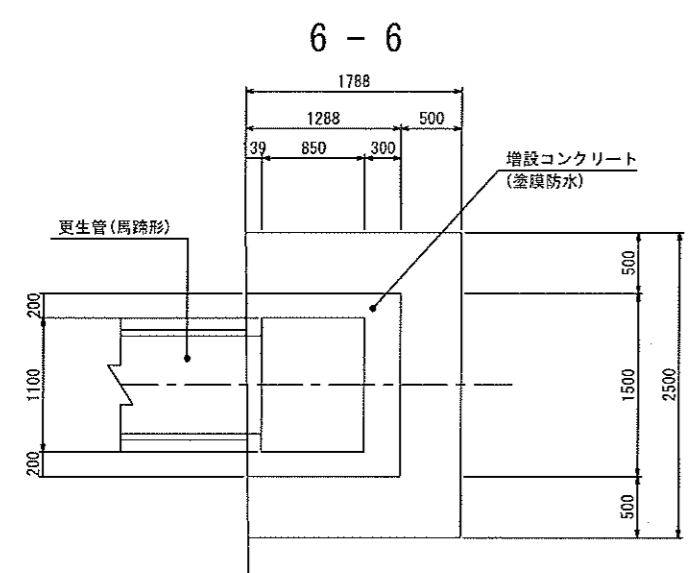
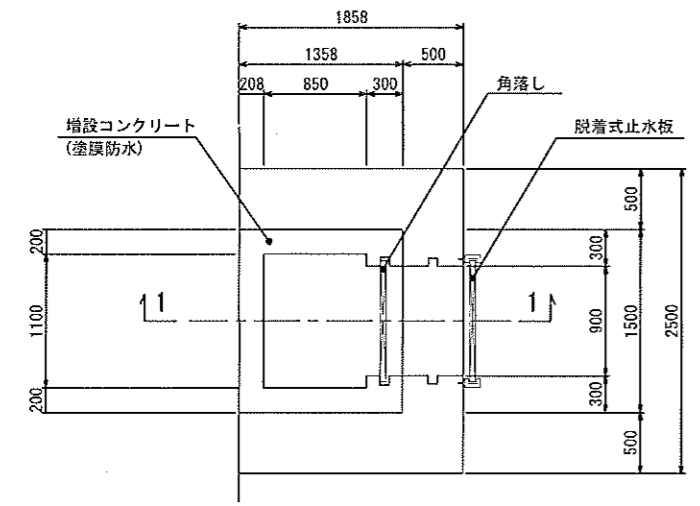
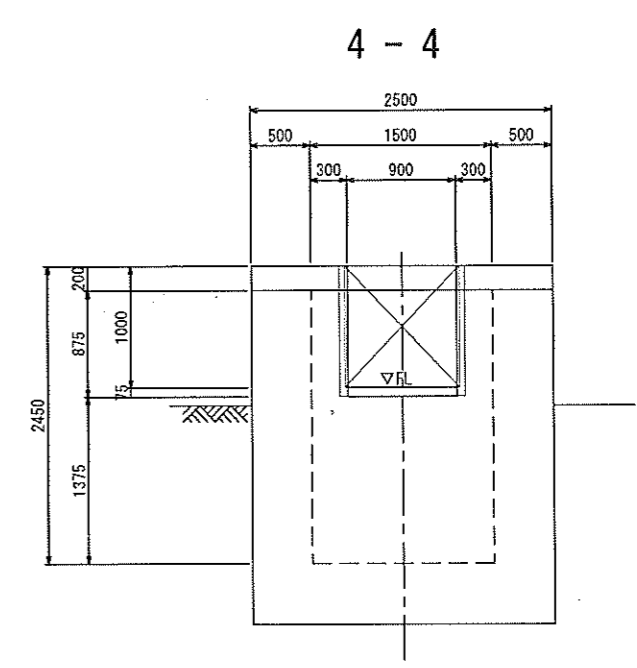
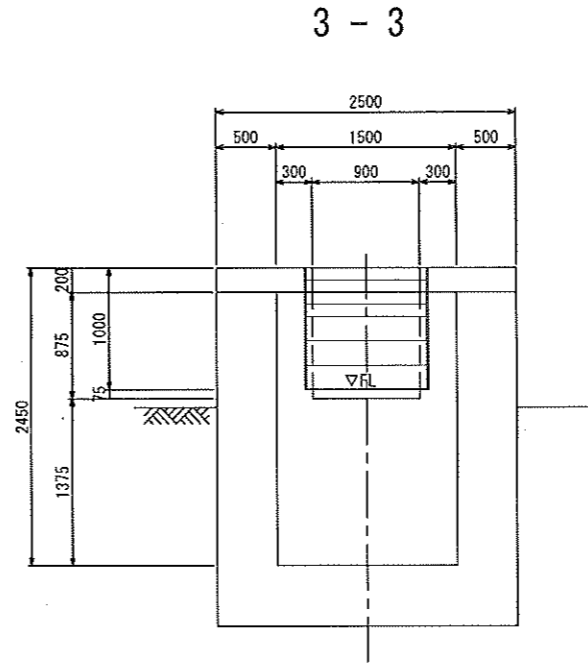
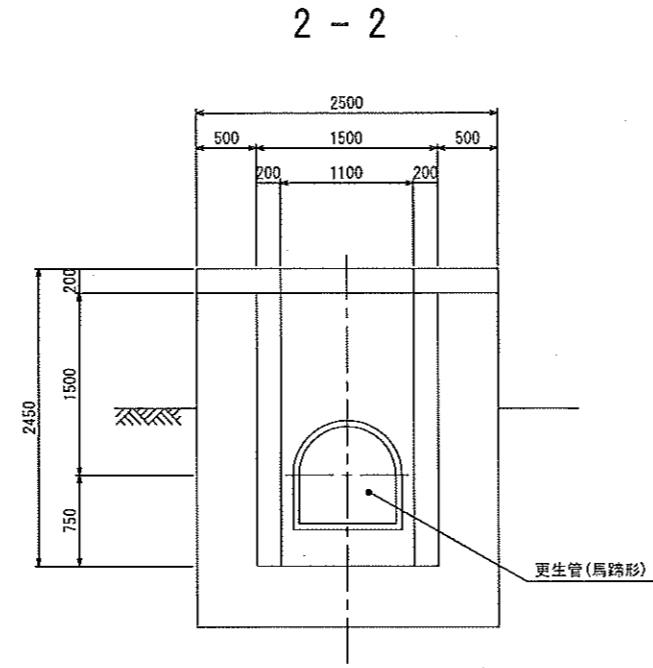
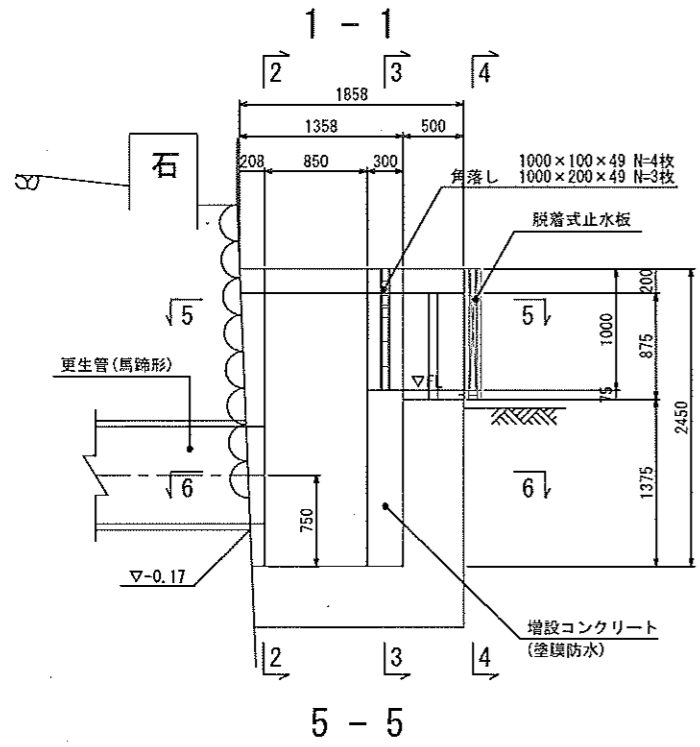


1 - 1断面 S=1:100 (S=1:50)

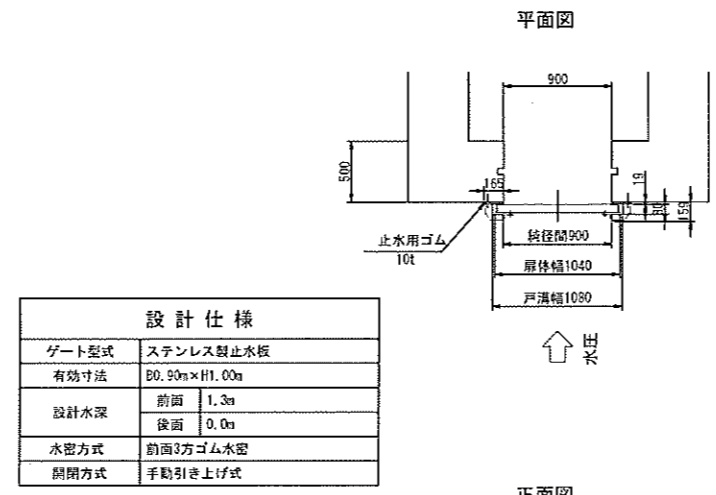


会社名称	皇居外苑 大手塚	指示
工事名称	大手門前通水管改修設計	3/8
図面名称	通水管施設改修計画図	設計
年月日	平成 年月 日 図面番号	設計
会社名	株式会社アーバンデザインコンサルタント	図面
事務所名	環境省自然環境政策局外苑管理事務所	設計

大手濠側管理柵構造図 S=1:60 (S=1:30)

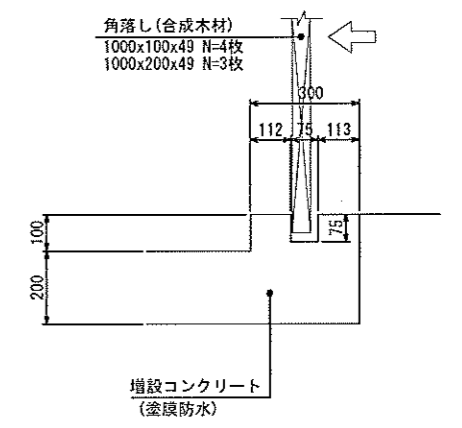


脱着式止水板詳細図 S=1:60 (S=1:30)



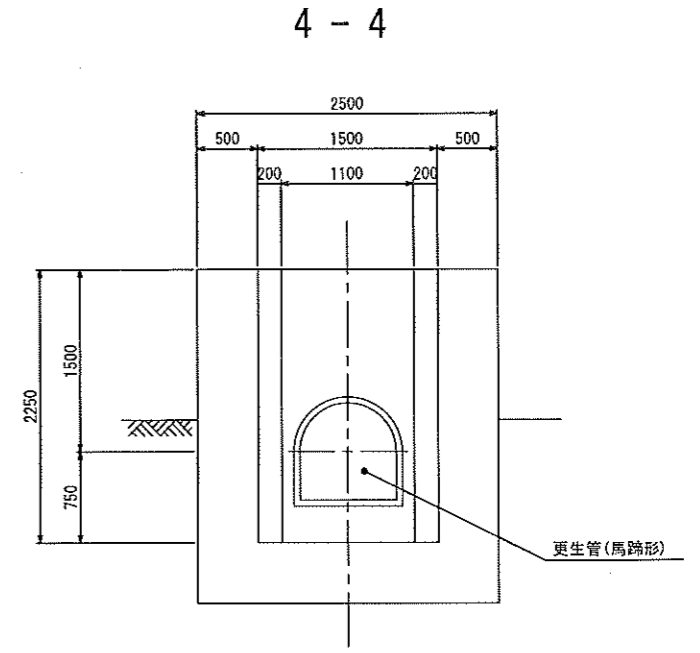
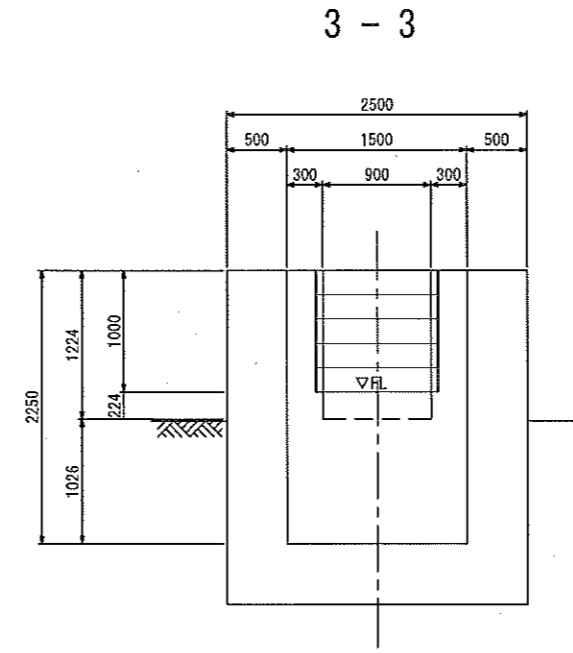
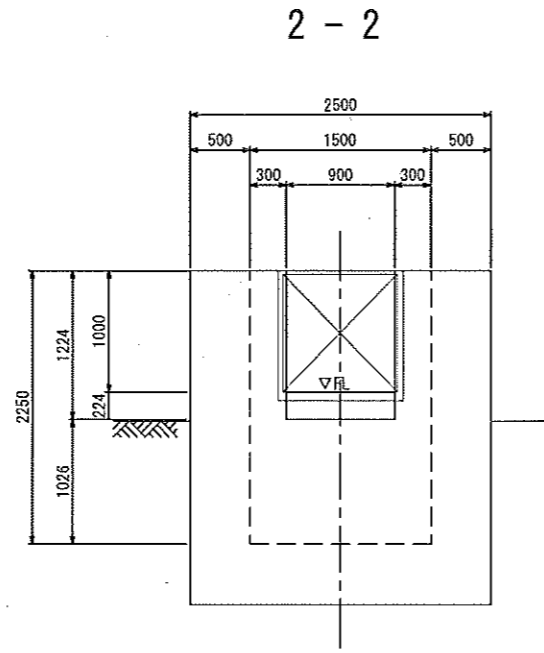
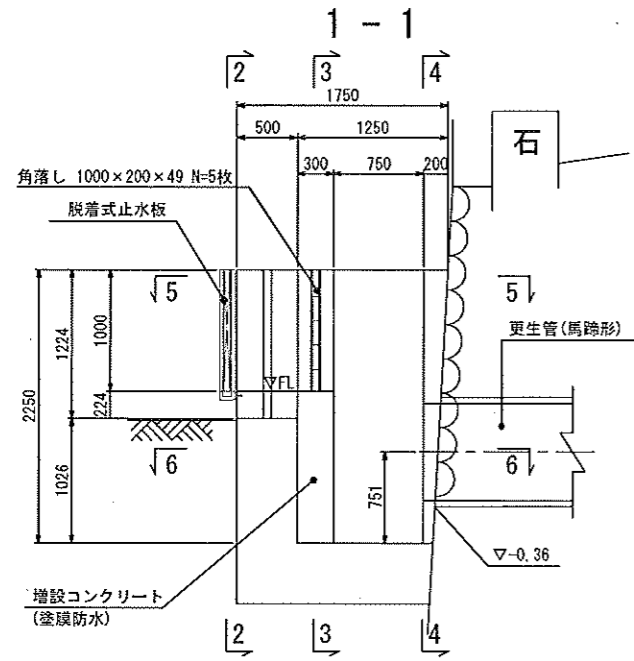
設計仕様	
ゲート型式	ステンレス製止水板
有効寸法	B0.90m×H1.00m
設計水深	前面 1.3m
	後面 0.0m
水密方式	前面3方ゴム水密
開閉方式	手動引き上げ式

角落し詳細図 S=1:20 (S=1:10)

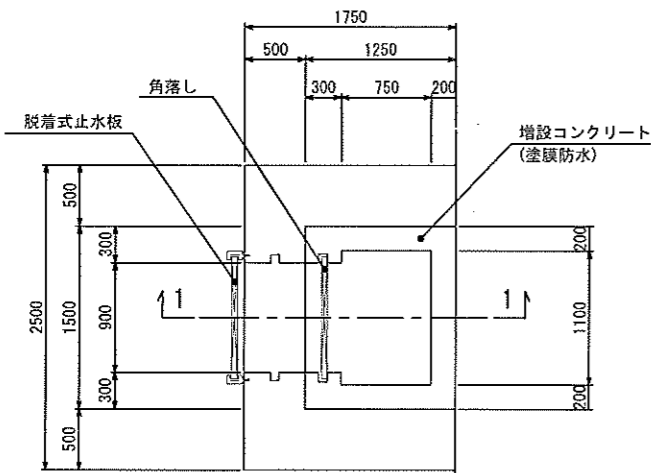


公園名称	皇居外苑 大手濠	図尺	1:20
工事名称	大手門前通水管路改修設計	図番	5/8
図面名称	大手濠側管理柵構造図	図番	5/8
年月日	平成 年 月 日	図番	5/8
会社名	創アーバンデザインコンクリート	図番	5/8
事務所名	東京都自然環境局皇居外苑管理事務所	図番	5/8

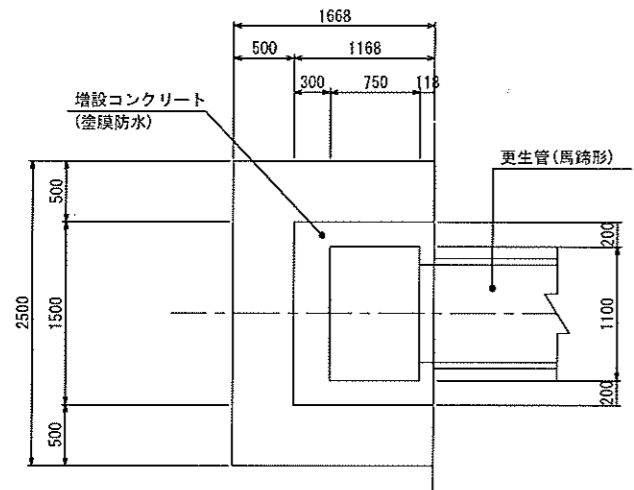
桔梗濠側管理柵構造図 S=1:60 (S=1:30)



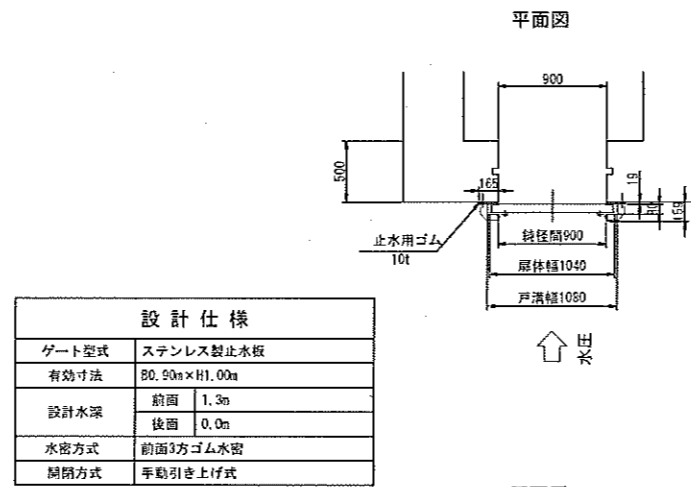
5-5



6-6

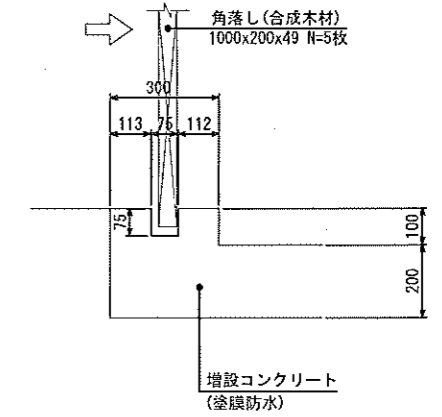


脱着式止水板詳細図 S=1:20 (S=1:10)



設計仕様	
ゲート型式	ステンレス製止水板
有効寸法	80, 90n × H1, 00n
設計水深	前面 1.3m
	後面 0.0m
水密方式	前面3方ゴム水密
開閉方式	手動引き上げ式

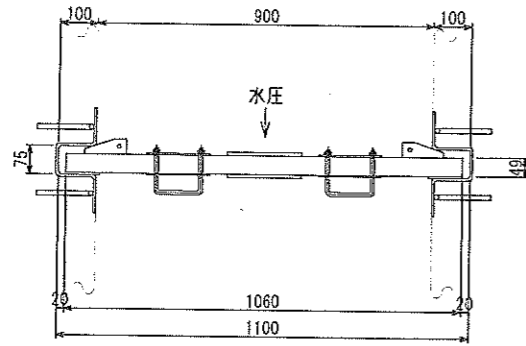
角落し詳細図 S=1:20 (S=1:10)



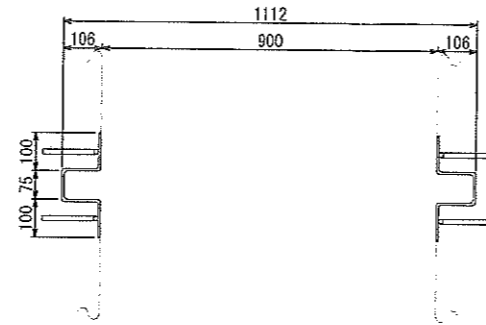
公園名称	皇居外苑 大手濠	図尺	図示
工事名称	大手門前通水管路改修設計	図号	6
図面名称	桔梗濠側管理柵構造図	図面番号	8
年月日	平成 年 月 日	図案	設計
会社名	株式会社 アーバンデザインコンサルタント	図案	設計
事務所名	東京都自然環境局皇居外苑管理事務所	図案	設計

大手濠 角落し構造図(参考図)

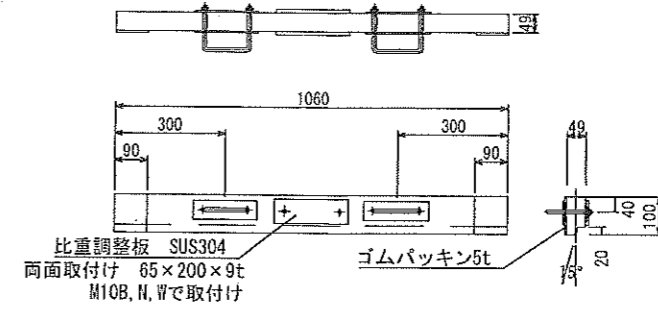
角落し 全体図
S=1:20(S=1:10)



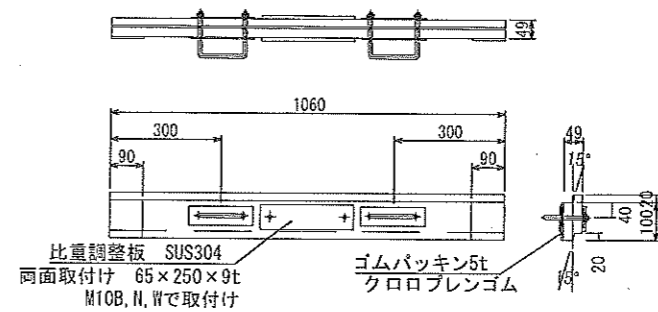
角落し 受枠 詳細図
S=1:20(S=1:10)



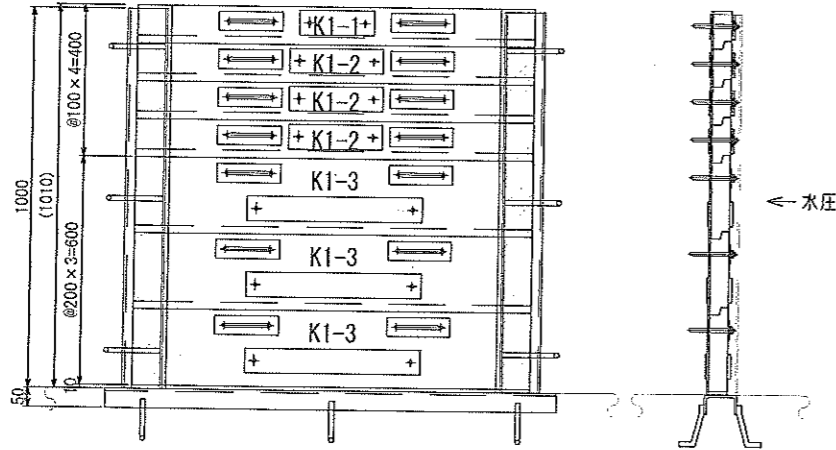
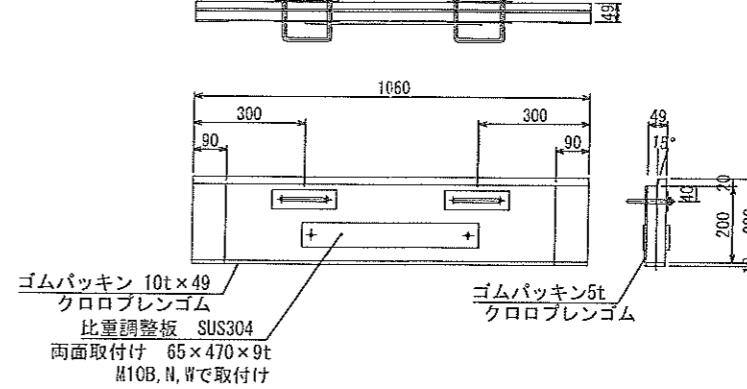
K1-1 角落し 詳細図 (1枚) S=1:20(S=1:10)
参考重量: 6kg



K1-2 角落し 詳細図 (3枚) S=1:20(S=1:10)
参考重量: 6kg

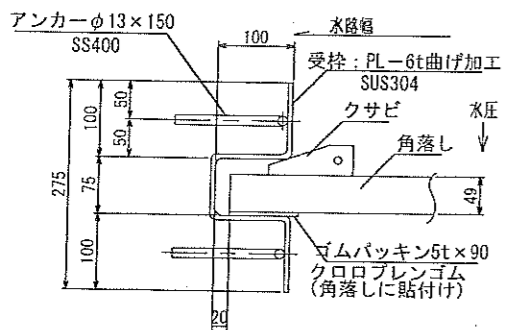


K1-3 角落し 詳細図 (3枚) S=1:20(S=1:10)
参考重量: 12kg

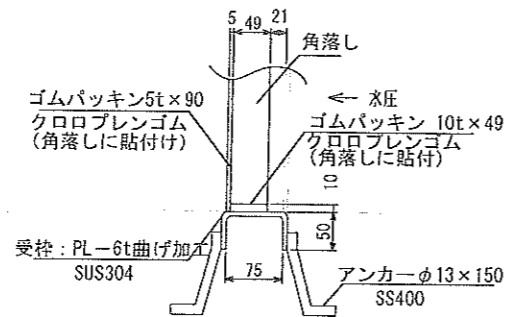


K1 角落し (1箇所) 呼称50
W1060 x H1000 x 49t

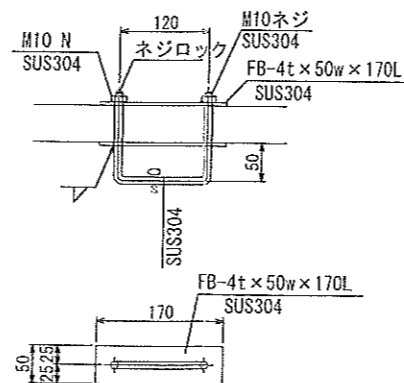
角落し 支持部 詳細図
S=1:10(S=1:5)



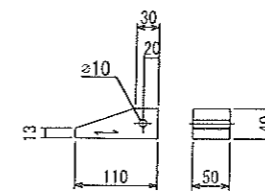
角落し 下部 詳細図
S=1:10(S=1:5)



取手 詳細図
S=1:10(S=1:5)



FFU製クサビ 詳細図
S=1:10(S=1:5)



設置箇所	箇所数	材質	長さ(L)	高さ(H)	板厚(t)	品番	数量	参考重量 (kg/枚)	備考
K1	1	FFU74	1060	100	49	K1-1	1	6	
			1050	100	49	K1-2	3	6	
			1060	200	49	K1-3	3	12	
合計						7			

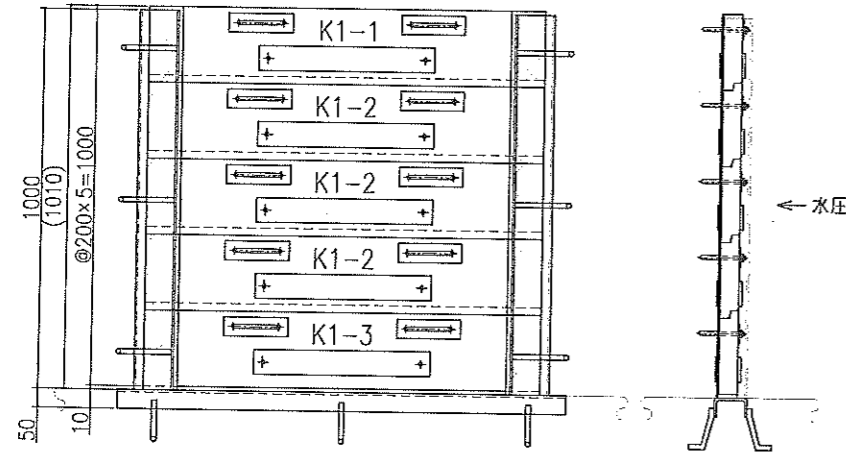
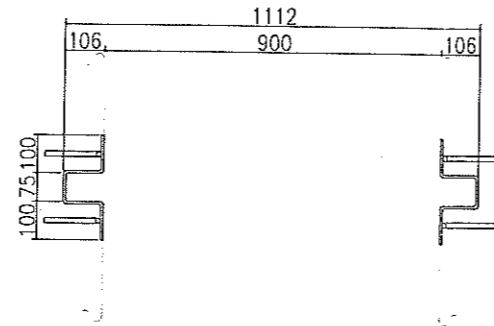
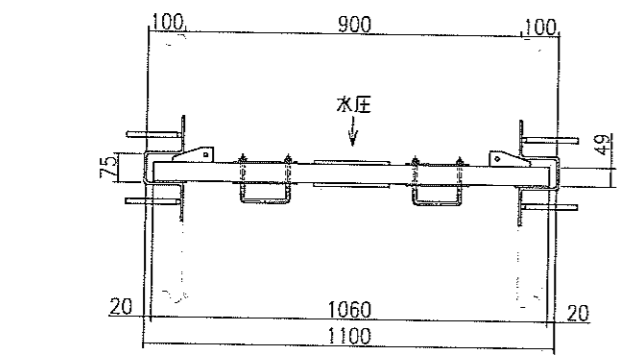
特記仕様 (角落し)

- () 寸法は参考値とする。
- 材質: ガラス繊維強化積層ウレタン樹脂発泡体 (FFU74) とする。
- 角落しの比重: 1.0以上
- 合成木材を貼合せ接着するばあいは、エポキシ系接着剤を使用する。
- 参考重量は、金具 (引き上げ用取手) の重量を含まず。
- 塗装: アクリルウレタン塗装。茶色 (609-30F)
[日本塗装工業会発行の塗料用標準色見本帳による]

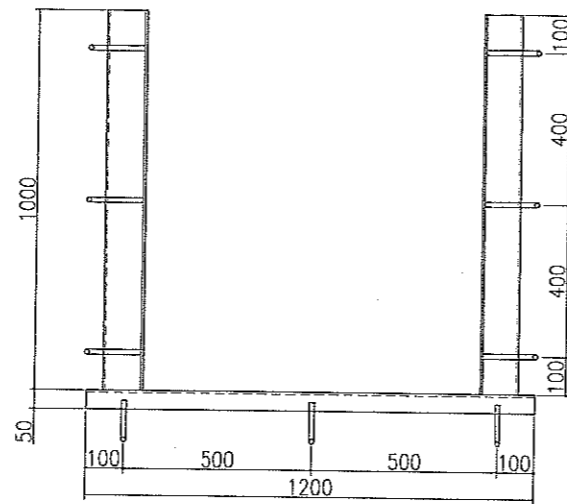
会社名	豊居外苑 大手濠
工事名	大手門前通水管路改修設計
図面名	大手濠角落し構造図(参考図)
年月日	平成 年 月 日
会社名	筑7-アパゾンコンサルタント
事務所名	環境省自然環境局長官邸管理事務所

桔梗濠 角落し構造図(参考図)

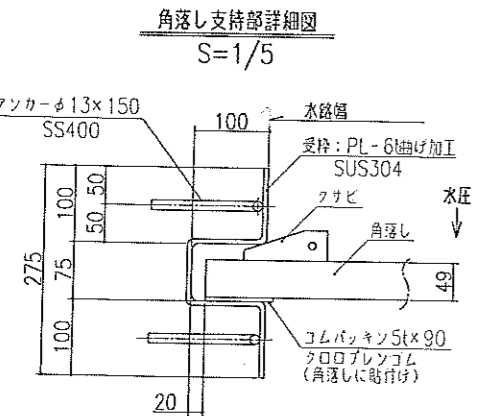
K1 角落し (1箇所) 呼称 50
W1060×H1000×49t



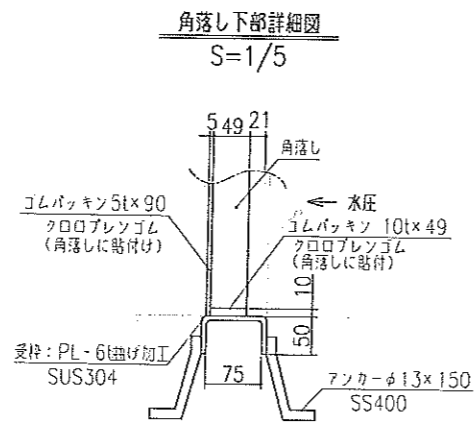
角落し 全体図
S=1/10



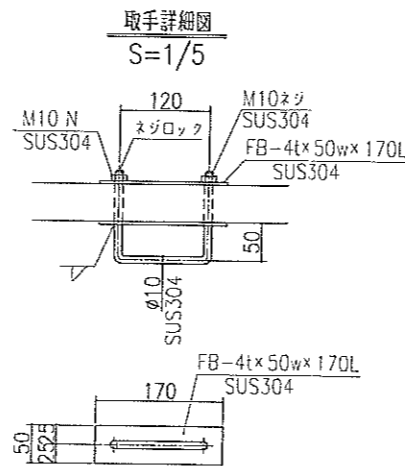
角落し 受枠 詳細図
S=1/10



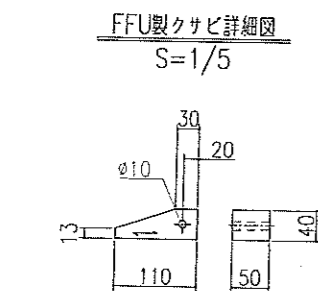
角落し 支持部 詳細図
S=1/5



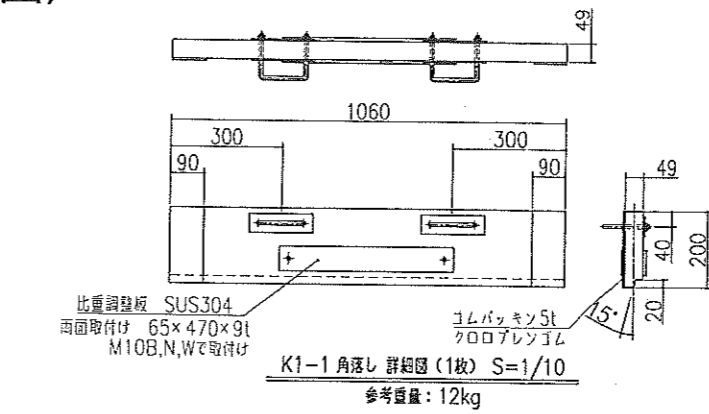
角落し 下部 詳細図
S=1/5



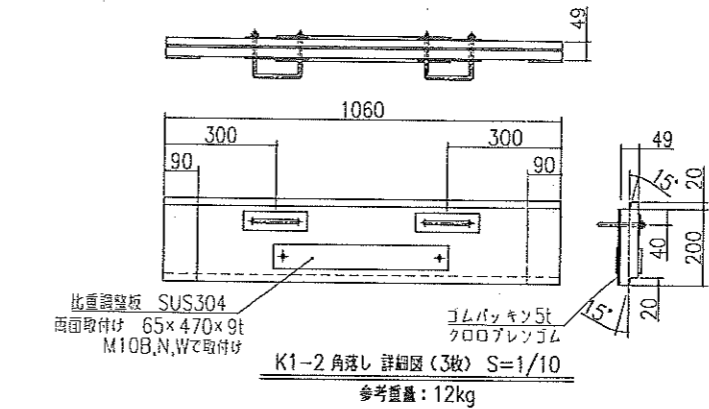
取手 詳細図
S=1/5



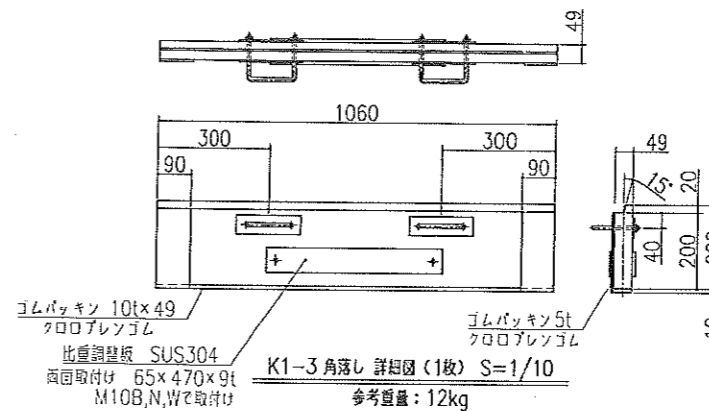
FFU製クサビ 詳細図
S=1/5



K1-1 角落し 詳細図 (1枚) S=1/10
参考重量: 12kg



K1-2 角落し 詳細図 (3枚) S=1/10
参考重量: 12kg



K1-3 角落し 詳細図 (1枚) S=1/10
参考重量: 12kg

設置箇所	箇所数	材質	長さ(L)	高さ(H)	板厚(t)	品番	数量	参考重量 (kg/1枚)	備考
K1	1	FFU74	1060	200	49	K1-1	1	12	
			1060	200	49	K1-2	3	12	
			1060	200	49	K1-3	1	12	
合計						5			

特記仕様 (角落し)

- () 寸法は参考値とする。
- 材質: ガラス繊維強化硬質ウレタン樹脂発泡体 (FFU74) とする。
- 角落しの比重量: 1.0以上
- 合成木材を貼合せ接着するばあいは、エポキシ系接着剤を使用する。
- 参考重量は、金具 (引き上げ取手) の重量を含まず。
- 塗装: アクリルウレタン塗装。茶色 (G09-30F) (日本塗装工業会発行の塗料用標準色見本帳による)

公園名称	皇居外苑 大平濠		
工事名称	大手門前通水管路改修設計		
図面名称	桔梗濠角落し構造図(参考図)	図示	1/20
年月日	平成 年 月 日	図面番号	8
会社名	茨アーバンデザインコンサルタント	図面	設計
業務名称	環境省自然環境局皇居外苑管理事務所	図面	設計

本工事費内訳書

工種	種別	細別	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
本工事費								
	仮締切設置工			式	1.0			1号 内訳書
	管理柵修復工			式	1.0			2号 内訳書
	更生管設置工			式	1.0			6号 内訳書
	仮締切撤去工			式	1.0			3号 内訳書
	水替工			式	1.0			4号 内訳書
直接工事費(A)				式	1.0			
共通仮設費(B)				式	1.0			
	安全費	(積上げ分)		式	1.0			5号 内訳書
	イメージアップ経費			%				
	共通仮設費	(率 分)		%				
純工事費(C)				式	1.0			
	現場管理費			%				
工事原価(D)				式	1.0			
	一般管理費			%				
工事価格(E)				式	1.0			
	消費税相当分			%				
請負工事費				式	1.0			

4 号内訳書

水替工

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
水中ポンプ運転		日	23.0			
水中ポンプ設置・撤去		箇所	2.0			
合 計						

